元名フィル首席奏者ら 名古屋でコンサート

12日 伏見の電気文化会館



パヴェル・エレットさん

「デュオ・ディ・パッソ&パヴェル・エレット、渡辺治子」コンサート(読売新聞中部支社後援)が十二日午後七時から、名古屋・伏見の電気文化会館ザ・コンサートホールで開かれる。

一九九八年四月から二〇〇一年三月まで名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターやソリストを務めたバイオリンのエレットさんと、プラハでともに学んだ、チェコ・フィルの首席コントラバス奏者イルジー・フデツツ、同じく首席チェロ奏者フランティシェク・ホスト、プラハで研さんを積んだピアニスト渡辺治子さんらが、独奏、デュエットを交える構成となっている。プログラムは、サラサーテの「カルメンファンタジー」、エルンストの「庭の千草の主題による変奏曲」、バーンスタインの「ウエストサイド物語」より、など全7曲。バイオリン、コントラバス、チェロの室内楽のだいご味を楽しめる内容となっている。

SS席六千円、S席五千五百円、A席五千円、学生席二千五百円。問い合わせはコンツェルト・ピュロー・アサイ(052・763・2634)へ。